

登録コード	ASQ04500	開講年度	2026					
授業科目	山岳環境保全学特別実験実習					担当教員	安江 恒	
英文授業名	Advanced Experimental Course on Conservation of Mountain Environment					副担当	荒瀬 輝夫・城田 徹央・小野 裕・福山 泰治郎	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	1年次生
講義室				授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					山岳地域における森林の生態, 環境変動, 山地防災, 環境保全に関するメカニズムや問題点の把握, 説明を行うための技術を修得している。		
授業の概要	・森林生態学, 山地災害学, 山岳環境学に関する課題について, 野外調査, 巡検などを通して, そこでの問題点の発見, 把握方法を体得し, 問題解決を目標とした分析・検討法の実際的方法を実習する。実習による検討成果は, 相互討論のうえ学会発表を通して説明能力を研く。							
Contents:	1. Field survey on forest ecology (vegetation, habitat and tree morphology) 2. Field survey on forest ecology (relationships among tree ecology, vegetation and environment) 3. Field survey on mountain environment (plant taxonomy and distribution, tree ring sampling) 4. Field survey on mountain environment (analyses on plant taxonomy and distribution, dendrochronology) 5. Field survey on mountain conservation (water balance, mass movement and disasters) 6. Field survey on mountain conservation (mechanisms of disasters and prevention techniques) 7-8. Presentation and discussion							
授業計画	第1回(8時間) 森林生態学に関する野外調査(担当: 城田, 岡野)(1) ・森林植生と立地環境および樹木の形態についての調査 第2回(8時間) 森林生態学に関する野外調査(担当: 城田, 岡野)(2) ・樹木の生態や森林植生と立地環境についての解析 第3回(8時間) 山岳環境に関する野外調査(担当: 安江, 荒瀬)(1) ・異なる山岳環境に生育する植物の分類と分布, 樹木肥大成長の環境応答の調査 第4回(8時間) 山岳環境に関する野外調査(担当: 安江, 荒瀬)(2) ・山岳域における環境変動と植生および樹木肥大成長についての解析 第5回(8時間) 山地災害に関する現場巡検(担当: 小野, 福山)(1) ・森林における水収支・土砂動態解析や土砂災害地区の巡検 第6回(8時間) 山地災害に関する現場巡検(担当: 小野, 福山)(2) ・災害発生メカニズムとその防止技術の検討 第7回(6時間) 総合討論(1) ・プレゼンテーション資料の作成 第8回(6時間) 総合討論(2) ・調査解析内容についての討論							
成績評価の方法	課題を課して, 討論, 報告, レポート作成によって評価を実施する。 総合得点が90点を秀, 89~80点を優, 79~70点を良, 69~60点を可とし59点以下を不可とする。							
成績評価の基準	屋外調査や巡検の実施とその討論内容							
事前事後学習の内容	個別に指示をします							
履修上の注意	個別に指示をします							
質問,相談への対応	各担当者が随時受け付けます							
学生へのメッセージ	特になし							
【教科書】	特になし							
【参考書】	調査および巡検対象に応じて適宜指定する。							